



Architecture  
Presentasion

---

architect  
Shinichiro Matsuura

---

## Bauhaus Project

comododesign  
Architectural  
Design Office



建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



The Bauhaus satisfies the function,  
and it's strong and an cheap and there should be beautiful.





## 担当建築家

一級建築士

# 松浦 伸一郎

Matsuura Shinichiro

コモドデザイン一級建築士事務所@山口

自分にとっての理想の住まい、また暮らしとは何なのか。

絡み合った糸をほどく一方で美しく紡いでいく。

家づくりとはそんな作業に例えられるかもしれません。

毎日の暮らしの中に「美」という心地よい違和感を感じることができたら。

その心のざわつきが、豊かさになるのだとしたら。そんな提案をしていきたいと考えています。

### Profile

1973年山口県生まれ

1994年徳山高専土木建築科 卒業

1994年ゼネコンの現場管理

2006年ハウスメーカー→工務店→

2013年 コモドデザイン

# デザインの素晴らしさ&長持ちするデザイン

今の日本の住宅の寿命は約30年というのが普通です。

ちなみに、アメリカでは70～100年以上、イギリスでは100～120年以上。

建物の設計や住まい方次第で、家の寿命を延ばすことは可能なんです。

日本と欧米、なぜこんなに違いがあるのか？

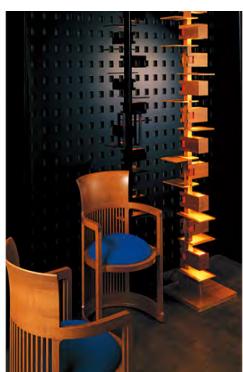
欧米では、ライフスタイルに合わせ自由に変更できる家なので、

お金あまりかけずに、生活に合った良い暮らしをしたり、子どもの世代に受け継いだり・・・

そんな良い循環ができているので建物の寿命が長いのです。

実際に、何十年も前にデザインされた建築や家具が今の時代でも愛され続け、

価値のあるものとして受け継がれています。



1904年  
バレルチェア



1920年代  
LC2/LC3 ソファ



1929年  
バルセロナチェア

近代建築の三大巨匠

►ミース・ファン・デル・ローエ  
1931年 サヴォア邸



►フランク・ロイド・ライト  
1936年 落水荘



►ル・コルビュジェ  
1951年 ファンズワース邸



# 建築家の高度な設計スキル

お客様のライフスタイルにあった設計をする上で重要なことのひとつに

『動線』を考慮することがあります。

**動線**とは、家の中を自然に動くときによく通る通路のこと。

普段の生活で朝の忙しい時間帯や、夜の家族でくつろぐ時間帯での

動線、炊事・洗濯・取り入れ・お風呂・就寝の準備など

家事をする時の動線、来客があるときの動線など、その家族に合った

動線を計画する必要があります。



# お父さんの部屋

あ母せは、**■**様にご指示いたしましたように、南東に配置し、南側の窓は場所をとっている。また、LDKへ向く開口、**■**ごみお部屋と行き来する角口は、不要なふうに玄関口となる引き戸にしており、廊下に面する  
玄関口は、時々行き来を想みてあるらしくものが、とても多いのである。  
とりあえづ、B帖の広さを想像しましよう。こうじて見ていくと、だいぶ  
狭くなっているが、今が把握していた方が良いと思いまして、一概にお  
程度、面積であります。床面積には、パラウムの最後の段を置いています。  
お部屋は置けませんが、ソファセットのテーブルは、かなり狭く並んで  
置かれているのが、良い感じだ。あとは、ソファセットのイスをこのように置くと、  
BOXが置かれています。参考にして下さい。

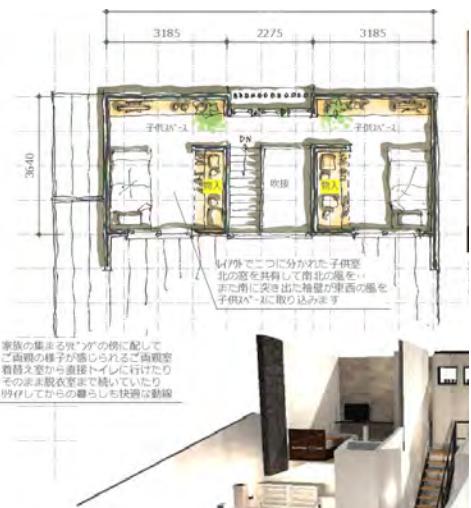
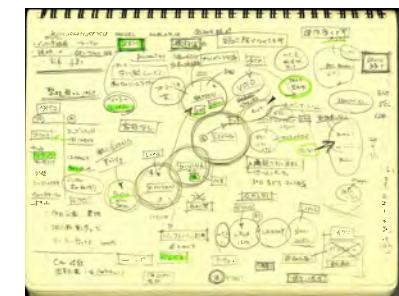
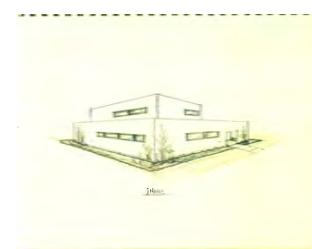
## お母さんの部屋・押し入れ

さまとび書きじたひの位置に配置しております。さまと同じ  
じく(脚下)への用意。**さまとひ行き案内用**(ひ行きまきしよ)は、  
併用の際には引き手に置いてあるので、ご容赦ください。また、ご希望される  
ひのりたるまことにタスクを組み立てる場合は、併せてお問い合わせください。**お問い合わせ窓口**は納  
付申込書類の郵便もしくは、FAXにてお問い合わせください。お問い合わせは、今後  
さまとが専門的なご質問や、資料請求、技術相談等は、お問い合わせ位置に  
なるかたよりお問い合わせください。お問い合わせは、お問い合わせ位置に

それが、毎日の負担が減るようだ。WCを一番近くにするようにしました  
それでも、うきついEEHTHEに限ります。

## 全体の配置について

さあ、いまの部屋に「LDKと使ふれ」とのアクセスを日々の生活の重音がナイトとしておこなう。あとは、大切にはあらぬ和室の考え方をきちんと成り立つように。。。((。))です。■様御家族が、おもて快適に暮らしていくよう想いを込め、詩画させたいたしかねます。



# 敷地を読む

樹木は同じ種類でも同じ形のものは一つもありません、枝ぶりも違う。  
 それは生えている場所が違うからです。  
 住宅も同じです。敷地に溶け込むデザイン、自然の風・光を利用する  
 デザインになるべきなのです。  
 建築家は、まず敷地を見て、その中でお客様の要望を入れて  
 全体的にデザインしていきます。



建築家 藤本誠生建築設計事務所@熊本 藤本誠生



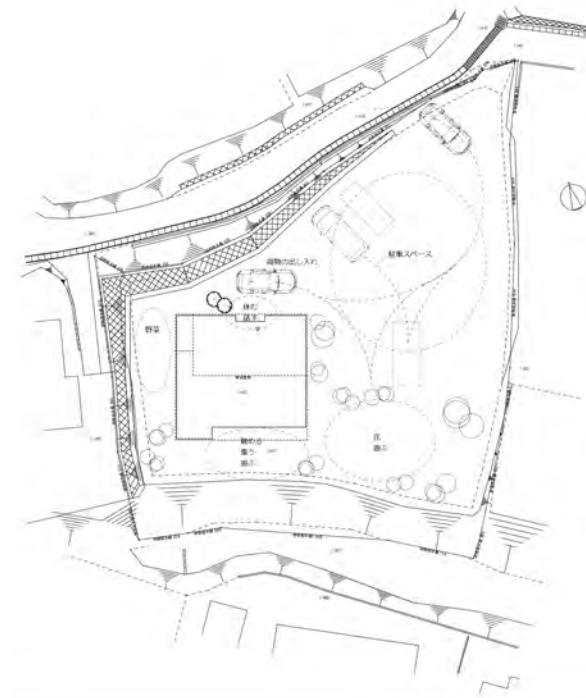
建築家 スギハラ建築設計事務所@広島 杉原豊実



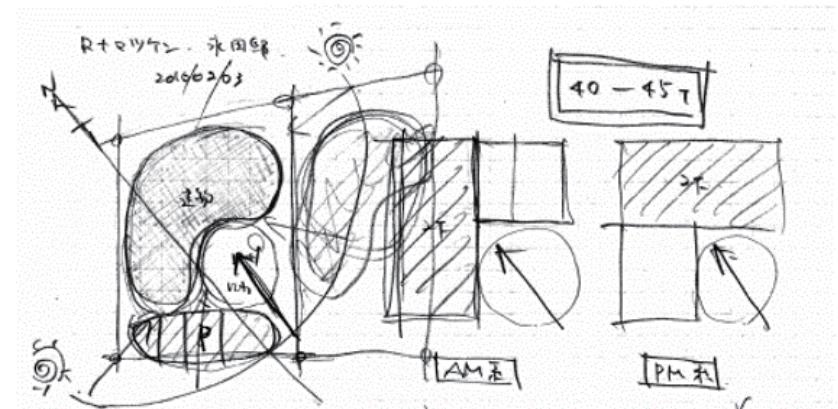
建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎  
2018/03/17



建築家 小川建築設計事務所@山口 小川真一郎



光・風・周辺の交通量・車が多いか・  
 人が良く通るか・昼夜のギャップ・隣家と距離感・  
 隣家の窓・玄関位置・どんな部屋なのか土地の  
 個性を考え、間取りや窓の位置は必ずその敷地に  
 合わせて作りこまれています。



# ヒアリング力と提案力

建築家と住宅会社の設計担当者とでは、家づくりに対するアプローチが全く違います。

例えば・・・

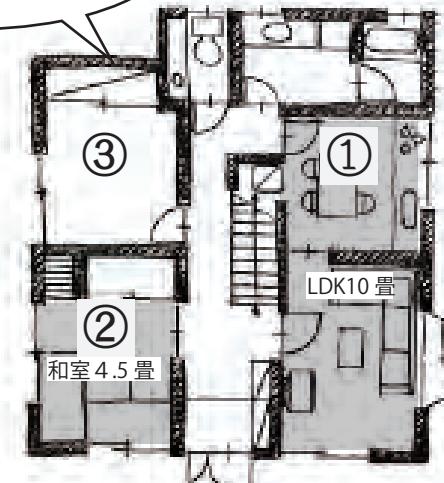
LDKは何畳欲しいですか？  
和室は何畳欲しいですか？

①リビングとダイニングは分けて全部で  
12畳くらい欲しいです！

②和室は5畳あるといいなあ・・・！

③洋室も1つ欲しいな

空間の寄せ集めプラン



一見、要望を聞いてくれて反映させてくれているように感じますが、  
これは要望をパズルのように当てはめただけの【空間の寄せ集め】になります。  
それは、本当にお客様にとって最適な間取りなのでしょうか？

建築家は、こう聞きます。

「目をつぶって想像してください。建てた家で何をしている光景ですか？」

その答えが、一番やりたいことです。そのライフスタイルを実現してくれるのが建築家。  
簡単にヒアリングされて出てきた間取りと、しっかりヒアリングされプロの建築家の知恵が反映された  
結果とは違います。



## さあ、建築家の提案を見てみましょう→

# block planning

BRUHRUS.  
BRUHRUS. is a registered trademark of BRUHRUS Co., Ltd.

① 20.11

Z03Z03228-8  
KBM H=20.000

敷地をめいっぱい使ったゆとりある生活

角を有効的に活用。  
どこからでも駐車しやすい。



配置計画

20.11

Z03Z03228-7

20.09  
(19.47)

(19.77)

4.00 ..

1-2

19. 98  
(19.55)

4.00 ..

20.14

北西

19.96

987

13.434

969

駐車場

**建築家の解決ポイント②**  
南西側：駐車場からの  
視線性を遮り、風も取り入れら  
れる。外の格子が生活  
を守ってくれるモチーフと  
なっている。

申請建物

19.97



3,259

04861

南西

隣家

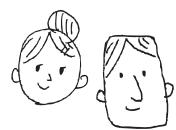
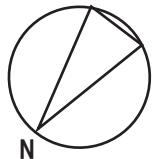
南東

**建築家の解決ポイント①**

南東側：隣家からの視線性がある為北西  
側に2階をもってきた。2階への圧迫感にも  
配慮。

## オーナー様の1日のタイムスケジュール

【ご主人】	【奥様】
7:30 起床・身支度（朝シャワー）	7:00 起床・身支度
8:00 朝食・出社	8:30 朝食・出社
↓	↓
19:00 帰宅	18:00 帰宅
20:00 着替	19:00 食事の準備
21:00 食事	20:00 食事
22:00 自由時間	21:00 片付け・その他色々
23:00 :	22:00 自由時間
24:00 就寝	23:00 お風呂
	24:00 就寝

1st  
f l o o r

1階中心の生活が希望だわ。  
生活導線を最短にしたい！  
着替えや洗濯などは、1カ所にまとめてスムーズに！



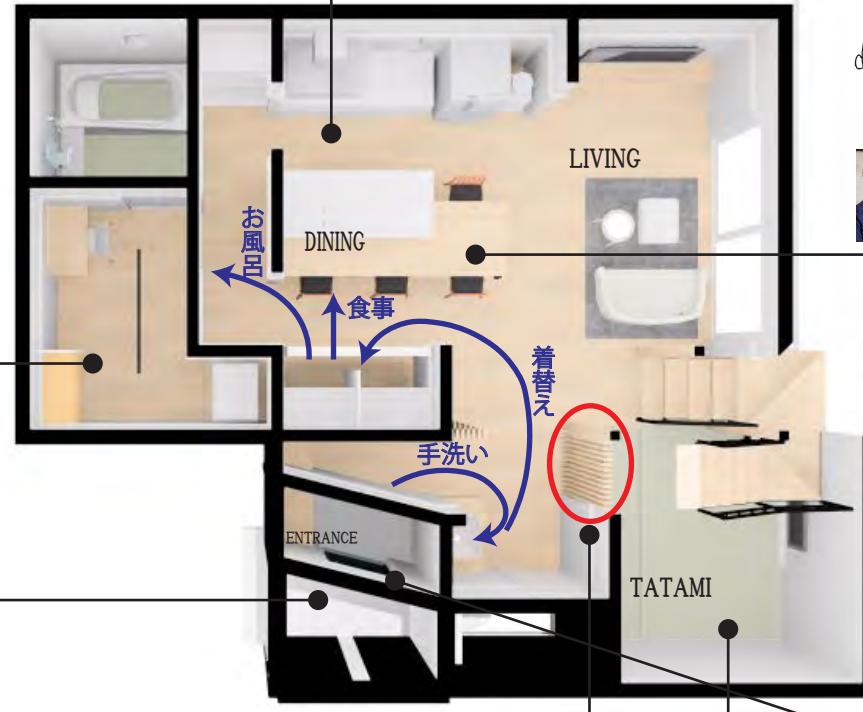
帰宅して手洗い～お風呂や食事までの動線を最短で設計しました。  
室内干しは脱衣室にして、すぐ隣のクローゼットに収納できます。  
何をする場合でも5～6歩で済むようにしています。



玄関を開けた時家の中が見えないようにしたいわ！



玄関を開けても外から見えないよう玄関の位置と壁の配置を工夫しました。  
ポストの位置も計算に入っています。  
部屋着でも気にせず、郵便物を取りに行けますよ。雨にも濡れないのでストレスフリーです。  
空間を最大限広く使えるよう玄関扉は斜めに位置しました。



仕事の帰りが遅い時は、料理をしながら、立ったまま食べるて、片付けすることも多いよね。



でしたら、II型のキッチンはいかがでしょう。  
奥様ご自身が回転するだけなので移動距離ゼロ。  
食べたり飲んだりしながら、お料理をしたり洗い物をしたりする方にとってはとても使いやすいスタイルです。動きやすいということは無駄な時間を使わないということなので、時間短縮にもつながります。



LDKは、お互い気兼ねなく自由にくつろいだりダイニングでゆっくり晩酌を楽しめる空間が理想だわ。



カウンター式のダイニングテーブルにすることで奥様がキッチンに立っていても、ご主人は対面して食事をすることができますし、配膳もキッチンから手を伸ばすだけなので楽ですよ。お料理中でもちょっと座ることができますから、ご主人との晩酌の時間もゆっくり楽しんでいただけると思います。



2人共くつろいだまま眠ってしまうこともしばしば。畳でゴロゴロしたいけど、和室を作るとリビングが狭くなったり使い勝手が悪くなったりしないかな…それなら和室は要らないから、置き型の畳でも敷こうかな。



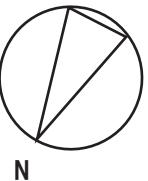
ふたりでいる時間も、ひとりの時間も大切にしたい。



室内の縦格子は、同じ空間に居ながらも気兼ねなく、お互いの好きなことがしやすいように半個室のような安心感を与えます。必要な時は声を掛け合えるプライバシーのあるオープンな空間を演出しました。



「和室」として区切るのではなくリビングの延長線上に畳スペースを設けることで2つの空間がありながら一体感と開放感を演出しました。畳でゴロンとしているときにリビングのテレビも見えますし、階段吹き抜けの下に畳をもってきたことで南の光が階段から落ちてきて、より心地よい空間になっています。床面に接した窓は高さや大きさを考慮して、寝転がっても外から見えないように配置していますから、外の視線を気にすることなく寛げますよ。階段下を利用して収納スペースを設けました。2人分の布団程度可能です。



布団をどこかで干したいわ。



道路から見えない位置に布団干しバーを付けました。  
南面なので日も当たります。



隣の月極駐車場からの視線が気になるわ。



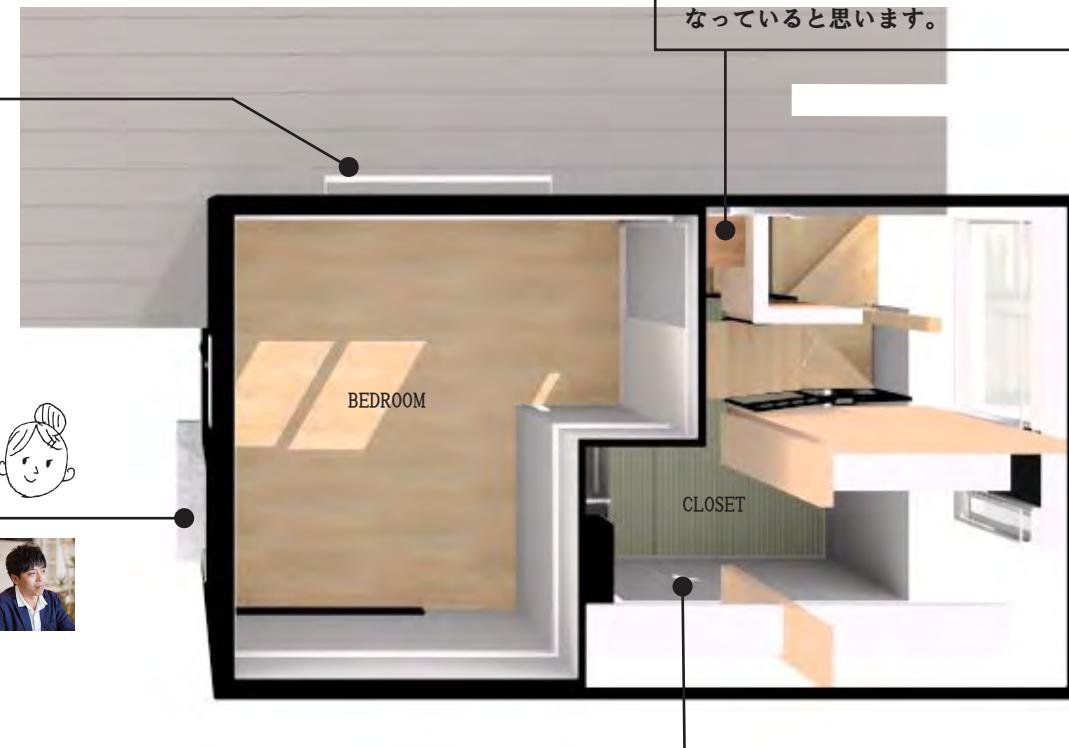
2階の位置は周りの家（視線）から離した距離に配置。隣家への圧迫感にも配慮しました。



もしスペースが取れるなら、仕事を持ち帰ることもあるし、一人になれる空間もあったらいいな。



階段スペースに、ちょっとした書斎を設けました。  
もう少し広く書斎スペースを設けることも可能でしたが、  
お施主様のご希望でクローゼットの広さはそのまま変えず  
寝室を広くしたいとの事でしたので、そちらを優先しました。  
書斎自体には扉はありませんが、腰の高さまでの壁がある為  
空間は繋がっているけど、姿は見えない。集中できる空間になっていると思います。

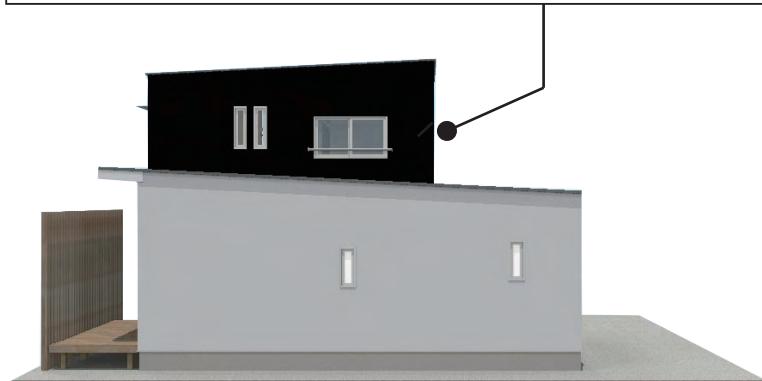
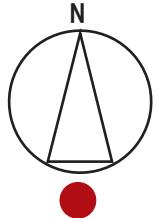


色々な使い方のできるクローゼットが魅力的。

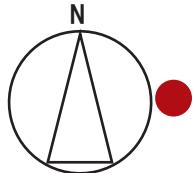


少なからず住んでから、ああしたい、こうしたいということまでてくると思いますので、棚やハンガーポールは付けず  
自由が利くように広めに収納をとりました。

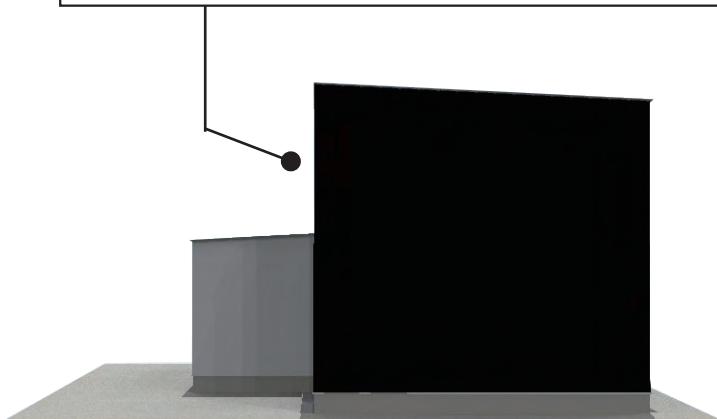
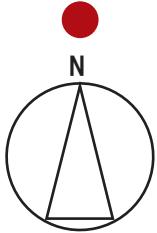
2階の位置は周りの家から離した距離で土地の中央に配置。今回の計画は土地の広さとご要望から、敷地をめ一杯使う計画だったので、施主様のプライバシーを考慮しながら、隣家へ圧迫感を与えない様に配慮している。



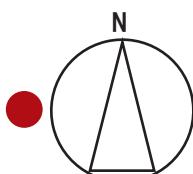
玄関への入り口は道路からの視線に配慮して壁を設けている。さらに玄関扉を正面ではなく斜めに配置しているので外からの視線が気になりにくい。



北西側は大きな道路に面していて、西日を遮る為にも西側に窓は設けていないが、南からの日当たりは窓の位置や高さ、庇（ひさし）の出幅を考慮し、日光を上手く取り入れられるように設計されている。



縦格子は隣の月極駐車場からの視線を遮る役割とデザイン性を兼ねている。駐車場側からは、室内の天井しか見えないよう計算されていて、室内と外との視線が交わらないようプライバシーが守られている。



# 熊本風配図

...とは、ある場所における一定期間の風向の頻度を八方位もしくは一六方位に分けて表し、同時に各風向きの平均風速をも示したもの。

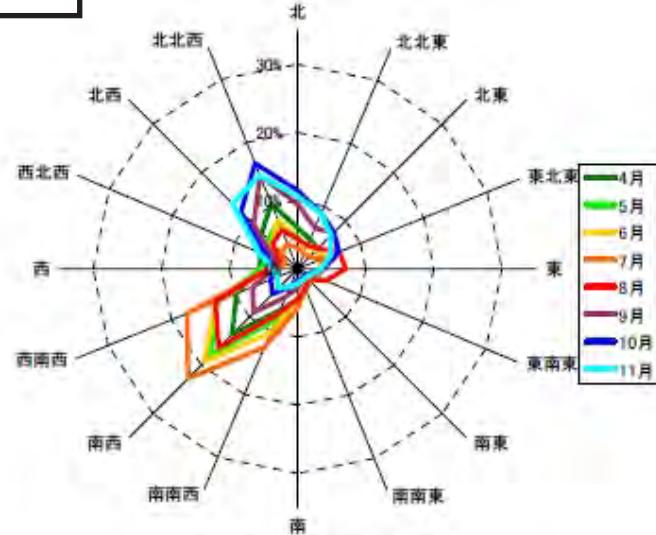


図4a 月別風配図(起居時)

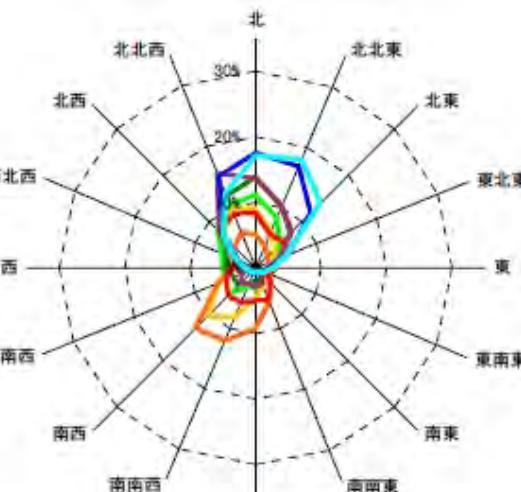
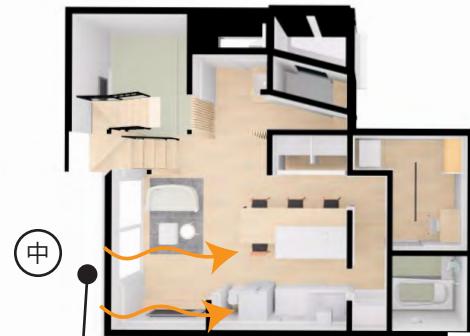
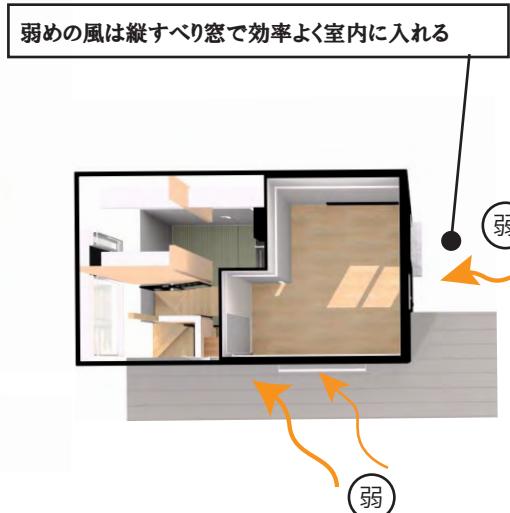


図4b 月別風配図(就寝時)

## 起床時



外からの心地よい風をリビングへ効率よく入れる。



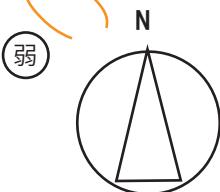
書斎に穏やかな風を通す



弱めの風は縦すべり窓で効率よく室内に入る

## 就寝時

寝室となる部屋に強い風が入らないように窓の配置や形状を考慮している

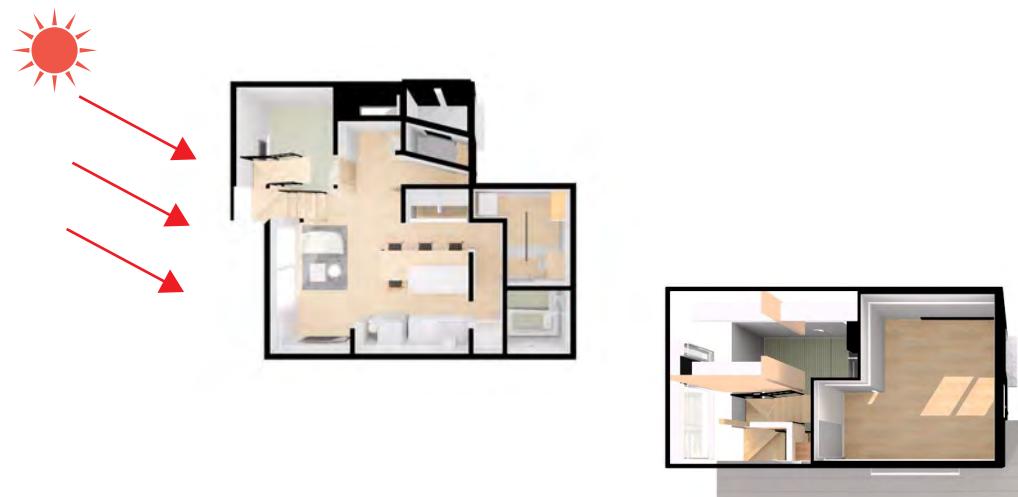


冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後12時



真夏午後12時



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに代わる太陽の動きも熟知したうえで設計します。

南西側



西側



北側道路側

